

菊づくり教室参加者募集

問・申 浦佐地域づくり協議会

☎7771-4535

浦佐菊花会（峰村）

☎7771-2150

秋に大輪の花を咲かせる菊の花のつくり方を、わかりやすく指導します。初心者も大歓迎です。

期 5月～11月（月1回、2時間程度。初回は5月10日ごろ開催）

会 大和公民館

費 500円（資料、教材用の

菊苗、資材費を含む年額）

メ 4月30日（木）

内 大菊の鉢栽培（実習）

講 魚沼菊花会・浦佐菊花会

他 後日、詳しい日程などを申込者に直接連絡。



シリーズ市民の声 ④

問 秘書広報課

☎7731-6658

しゃくなげ湖の観光利用について

【意見・提案など】

魚野川、しゃくなげ湖（三國川ダム）などの水エリアをグリーンシーズンの観光資源として、積極的に活用することを提案します。

カヤック、SUPなどが無料で楽しめることをアピールしたうえで、宿泊施設や周辺の観光スポットを紹介するなどしたらどうでしょうか。

もちろん安全対策としてライフジャケットは必ず着用、川はさらにヘルメットの着用もお願いし、ジェットスキーや動力船は環境保護のため禁止などの、ルール作りも早いうちにつけておく必要があると考えます。南魚沼市の水エリアは日本でも有数のすばらしいエリアだと思っておりますので、検討をお願いします。

（令和元年11月）

【市からの返事】

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

「観る」観光から「体験」する観光へと個人の趣向や観光の形態が変化するなか、当市でも四季を通じて多くの人から来ていただけるような取り組みを始めていきます。しかし、グリーンシーズンの誘客はまだまだ進んでおらず、今後の課題となっております。

令和元年の夏に、しゃくなげ湖では南魚沼市で初めてのSUP（スタンドアップパドルボード）が楽しめるツアーが行われました。このような取り組みが本年度以降も続くことを願っています。

ご提案をいただいたように、南魚沼の大自然が広がる中で、魚野川やしゃくなげ湖などで、豊富な水資源を活用したアクティビティが始まり根付いていけば、当市への来客数のさらなる増加が期待できます。今後PRなどに努めていきます。（担当：商工観光課）

【意見・提案など】

病児保育について

病後児保育は六日町にあります。病児保育が六日町にないのでとても不便です。病院に行き、医師連絡票を書いてもらった後、浦佐まで行くのは遠くて大変。預けられる身内がいらないため、仕事を休まなくてはならない時がある。

知り合いのお母さんが、熱の子どもを家に置いて仕事に行き、帰ったら亡くなっていたという話を聞いたことがあります。そのようなことが起きないように、熱でも預かってくれるシステム（できれば小学6年くらいまで）をお願いします。

市民病院の近くなど病院の近くを希望します。子育てしやすい環境をお願いします。（令和元年11月）

【市からの返事】

ご意見をいただいた病児

保育施設（以下、施設）が六日町・塩沢地域にないことについては、令和元年に子育て世代を対象に行ったニーズ調査でも、同様の意

見がありました。

その中では、多くの人は子どもが病気にかかったら、親が世話をするべきとの認識でした。しかし、どうしても仕事を休めない場合には、病児も預かる施設が必要となります。六日町・塩沢地域には施設がないため、不便であるとの意見がありました。

近年、核家族化の進行と祖父母などが近くに住んでいない世帯が多くなっていることも、施設が必要になる要因の一つであると認識しています。

市としても、当該地域に施設を設置したいと考えていますが、開設する場所や医師不足、看護師不足など多くの課題があります。また、施設の運営では、予約者の当日無断キャンセルが頻繁にあり、本当に困っている人が利用できない、子どもの受入れ実績が増えないなどの多くの問題が発生しています。

これらの問題を解決しつつ、本当に必要な人が病児保育事業を利用しやすくなるよう取り組んでいきます。

（担当：子育て支援課）